Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科				
科目名称	博物館情報・メディア論					授業形態	講義		
科目コード	710106	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブラーニング	
担当教員名	武田　信也							ICT活用	

授業概要	博物館、資料館においては、過去を記録したメディア（史料や資料）を扱い、主に展示という形で発信を行っている。個人の情報収集能力や発信力が高まる中で、学芸員は立ち位置をどこに求めるか問われている。また、館の活動周知のためにはメディアとしてのマスコミの力を借りており、どのような関係を構築するのかということも重要である。本講義では、これまでの経験を踏まえて、博物館の学芸員の立ち位置で、関連するメディアの諸相を考え、今後あるべき学芸員の姿を検討する。
関連する科目	3年次生を対象に開講する科目として、講義の理解を深めるために、学芸員資格取得に関する科目のうち、基礎的な2年次開講科目を履修しておくことが望ましい。また他の3年次開講科目を履修することが望ましい。
授業の進め方と方法	前半はメディアとしての史料（資料）の特性と展示制作での利用方法を考えていく。後半は展示の実践例を見ながら、あるべき展示の姿を考えていく。資料を深く読み込み、そこから伝えるべき情報を引き出し、展示やその他の形で発信する技法や能力を養うことを目標とする。
授業計画【第1回】	メディアとしての博物館展示 ○様々な博物館施設（動物園、植物園、美術館、博物館、資料館） ○本授業の概要説明（ガイダンス）
授業計画【第2回】	博物館における情報・メディアと学芸員 ○史料は過去を知るメディアである ○介在者としての学芸員とデジタルアーカイブ ○学芸員は何のために存在するのか
授業計画【第3回】	博物館における情報・メディア整理１ ○資料整理は展示と表裏一体 ○都城島津家史料目録調査、佐土原島津家文庫整理
授業計画【第4回】	博物館における情報・メディア整理２ ○都城市所有・寄託史料活用調査 ○調査の成果と課題
授業計画【第5回】	メディアとしての文字史料と特性 ○展示メディアの主役 ○低下する日本人のリテラシー能力
授業計画【第6回】	メディアとしての非文字史料と特性 ○生き字引が消える時、消える前に ○オーラルヒストリーとは何か
授業計画【第7回】	メディアとしての画像資料と特性 ○画像には文字史料が必要な理由 ○画像資料の分かりやすさは両刃の剣
授業計画【第8回】	メディアリテラシーを考える１ ○文字史料（「解読と分析」、「作成の背景を考える」、「周辺の掘り下げ」、「展示に仕立てる」）
授業計画【第9回】	メディアリテラシーを考える２ ○画像資料（権利関係、画像を「読む」こと、画像を「読む」実践）
授業計画【第10回】	メディアを使った展示制作 ○取材する側の視点を意識する ○展示制作の禁じ手とは何か ○誰にでも見やすい展示とは

授業計画 【第11回】	各メディアを使った展示実践その1 〇宮崎県立図書館企画展「武士の本棚」
授業計画 【第12回】	各メディアを使った展示実践その２ 〇宮崎県立図書館企画展「ぶらぶら日向路」
授業計画 【第13回】	各メディアを使った展示実践その３ 〇宮崎県立図書館企画展「ぶらぶら日向路Ⅱ」
授業計画 【第14回】	各メディアを使った展示実践その４ 〇宮崎県立図書館企画展「日本の近代と宮崎県人」
授業計画 【第15回】	まとめ 〇講義全体を振り返りながら、重要なポイントについて説明する。
授業の到達目標	各メディアの特性と限界を認識するとともに、実際の展示実践から、机上の理論だけでは学べない経験則を導き出し、共有する。その上で、組織としての博物館や、学芸員としての社会的使命を自覚し、社会一般に対して、展示やその他の活動を通じて能動的に発信できる人材となること。
学位授与の方針 (DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	予習については特に設定をしない。
授業時間外学習【復習】	講義で配布された資料と講義をノートした内容を復習しておくこと（1時間）。機会をとらえて博物館や資料館等に足を運び、展示を作る側の視点から観覧してみること（1時間）。
課題に対する フィードバック	試験またはレポートについては、評価返却後解説を行う。
評価方法・基準	試験またはレポート提出での評価とする（100点）
テキスト	授業開始時にプリントを配布する。
参考書	特に指定しない。
備考	受講の際は、自分が重要と思う点については、積極的にノートやメモを取るように心がけること。